

## 「我が事・丸ごと」の地域づくりへの支援【リーフレットの作成】

### 1 目的

地域住民一人ひとりが主体的かつ自分なりの形で地域づくりに関わるよう県民意識の醸成を図り、地域福祉活動や地域づくりに目を向けてもらい、「地域で何かやってみよう」と思ってもらう人を一人でも増やす。

### 2 取組

地域福祉等に関するリーフレットを作成し、県民に広く周知する。

### 3 活用方法（案）

作成したリーフレットは、次のように活用する。

- ・ 市町村や市町村社協に配布し、地域で開催する地域住民向けの研修や講演会等で活用する。
- ・ 県ホームページへの掲載や県のイベント時の配布など広く冊子の周知を図る。

### 4 リーフレット作成にあたって考慮すべき点（ポイント）

- 県民に分かりやすい表現と構成
- 地域福祉とは何か
- 何故、住民の力が必要なのか
- 県で考える地域福祉コーディネーターとは
- 誰かの助けになりたい気持ちやちょっとした行動が大切
- 地域の活動等への意識を向上させる（すでに活動をしているという意識も）
- 具体的な活動事例（はじめの一歩的な取組）を掲載。  
→興味を持った方を、事例集へ案内
- タイトルは「あなたも『地域福祉コーディネーター』』とすると専門職を対象としているように感じる
- すでに活動している人に負担感や押し付けられ感を与えない。
- 「キーパーソン」の言葉は使わない。
- 地域福祉コーディネーターのイメージ図では、次の要素で表す。
  - ・ 地域住民も専門職も地域福祉コーディネーターになりうる。  
（地域の困りごとを自治会の役員や専門職等につなぐ人、地域を盛り上げるよう活動する人、地域の情報を発信する人、世話焼きの住民、専門職として相談を受ける人 など）
  - ・ できれば、全世帯対象の「我が事・丸ごと」の事例を掲載

### 5 整理すべき点

リーフレットに掲載するにあたり、県民に伝わりやすい、平易な言葉や文章とする。

#### （1）地域福祉とは

【大目標】 ともに生き、支え合う社会の実現

【小目標】 誰もが地域において安心していきいきと生活できること

【方法】 互いを認め合い、支え合いながら、みんなで考え協力して取り組む

- (案) 誰もが地域において安心していきいきと生活できるよう、互いを認め合い、  
支え合いながら、みんなで考え協力して取り組んでいくこと  
こうした活動が集まって“「ともに生き、支え合う社会」の実現”につながる

## (2) 地域福祉コーディネーターとは

別紙参照

## (3) タイトル・副題

### ○ タイトル

- (案1) 今、私たちが地域でできること
- (案2) 私たち一人ひとりが地域づくりの主役です。
- (案3) 自分たちで暮らしたい地域（まち）をつくろう！
- (案4) あなたの地域を安心して暮らせるまちにしたいありませんか！？
- (案5) 自分たちで住みやすい地域（まち）をつくりませんか！
- (案6) 自分たちが暮らしたいと思える地域（まち）にしたいありませんか！？
- (案7) 私たちからはじめる地域（まち）づくり
- (案8) 今、私ができること
- (案9) 私の地域（まち）を“暮らしたいまち No.1”に！
- (案10) 暮らしたい地域（まち）No.1

### ○ 副題

- (案1) 私のその気持ち、その一歩が地域（まち）をつくる
- (案2) 地域に住まう人みんなの幸せづくり
- (案3) 誰もが安心して暮らせる地域社会づくり
- (案4) 今、私たちが地域でできること
- (案5) 私たち一人ひとりが主役の地域（まち）づくり
- (案6) “つながり”が生む「地域×福祉」

## (4) リーフレットの構成

※ 別紙イメージ参照

## 6 今後のスケジュール

- 平成 31（令和元）年度
  - ・ リーフレット内容の調整